

ひまわり 第67号



年頭のご挨拶

社会福祉法人 鬼北町社会福祉協議会
会長 渡邊 邦夫



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、当社会福祉協議会の運営及び福祉事業の推進に、格別のご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルスが世界規模で拡大し、国内では東京オリンピックや様々な行事、イベントが延期や中止となるなど、日本中が振り回された年でした。特に、交通機関や観光業及び飲食業は、感染予防対策としての外出自粛や営業時間の短縮等により利用者が激減し厳しい経営状況に追い込まれています。運送業や飲食業に従事する住民の中には収入が減り支援を必要とする方々もおられました。コロナは冬を迎えて全国的な拡大を見せており、今年も感染予防対策に取り組む1年となりそうです。

鬼北町社協は、住民が会員となり組織された住民による住民のための民間非営利組織です。行政組織や福祉団体・住民組織等の住民福祉に関わる幅広いネットワーク作りを通して、住民が住み慣れたまちで安全に安心して暮らせるまちづくりを目指しています。しかし、住民の皆様には、社協の設立目的や住民福祉活動の取り組みについて理解されている方は少なく、役場の出先機関や介護施設とされている方も多いように思われます。

社協は、自主財源を持たないため、法人運営事業（事務所の人件費や事務費等及び福祉センターの維持管理費）は町の補助金により賄われますが、社協の単独事業である住民福祉事業や各種団体の活動支援の財源は、まごころ銀行への寄付金や共同募金等の還元金そして、皆様からの会費によって賄われています。社協が地域福祉を推進するためには、住民の皆様のご支援が不可欠であり、社協の役割や取組をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

また、社協の介護保険事業は独立採算ですが、介護認定基準の見直しによる介護報酬の減額や在宅介護サービス利用者の減少等により、近年大幅な赤字経営となっており、介護保険事業の継続が厳しい状況となっています。高齢者福祉も社協の役割であり、社協が介護保険事業を廃止すれば介護認定を受けても介護サービスが受けられない高齢者も出てくることから、廃止することはできません。そのためには、利用者の確保による増収を図るとともに、職員削減や給与の引き下げ等による支出削減を行い事業経営に取り組んでまいります。住民の皆様には社協の介護サービスをご利用いただき、事業継続のご支援をお願いいたします。

社協は、住民福祉の一翼を担う福祉法人として、関係機関や関係団体との連携を強化し地域福祉・住民福祉の向上に取り組むとともに、介護保険事業につきましても、利用者お一人おひとりに寄り添ったサービスを提供してまいります。社協が町民の皆様にも身近に感じていただき、頼りにされる存在となるよう、役職員一丸となって取り組む所存でございますので、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

第17回鬼北町社会福祉大会中止のお知らせ

例年3月に開催しておりました標記の大会につきまして、全国的に新型コロナウイルス感染者が増加する一方、愛媛県内においても感染者の確認がされていることから、多くの皆様にご来場いただいております社会福祉大会の開催について関係者協議のうえ、新型コロナウイルス感染拡大防止を考慮し第17回鬼北町社会福祉大会の開催を中止することといたしました。開催を楽しみにしておられた皆様には大変恐縮ではございますが、事態をご理解いただきますようお願い申し上げます。

鬼北町共同募金・歳末たすけあい募金にご協力 ありがとうございました



昨年10月から年末にかけて、ご協力をお願いしておりました赤い羽根共同募金及び歳末たすけあい募金は、町民の皆様、各事業所様のご理解、ご協力により今年度も充実した募金運動を実施することができました。

このことについて厚くお礼申し上げますとともに、下記のとおりご報告いたしますので、今後も皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。また、お忘れの方がいらっしゃいましたら、募金は今年度末まで受け付けておりますので、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

赤い羽根共同募金の募集実績(令和3年1月6日現在)

戸別募金	1, 175, 150円	(2, 612戸)
職域募金	336, 537円	(93件)
イベント・個人ほか	133, 605円	(22件)
募金額合計	1, 645, 292円	



歳末たすけあい募金の募集実績(令和3年1月6日現在)

戸別募金	683, 250円	(2, 733戸)
職域募金	65, 280円	(26件)
イベント・個人ほか	57, 470円	(5件)
募金額合計	806, 000円	

歳末たすけあい募金の配分実績(令和2年12月末配分)

町内への配分	482, 800円	(28世帯)
施設への配分	285, 700円	(16施設24名)
配分類合計	768, 500円	

ダイヤモンド婚顕彰該当者の募集について

先にお伝えいたしました通り、社会福祉大会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止と致しましたが、例年、社会福祉大会で実施しておりますダイヤモンド婚該当者へのお祝い状の贈呈については、今年度、結婚60年を迎えたご夫婦もいらっしゃるから実施いたします。ただし、式典は行わず該当者の皆さまに後日、社会福祉協議会職員がお祝い状をお渡しにお伺いいたします。お祝い状贈呈の該当者条件は以下の通りとなります。

○該当者の条件

・鬼北町に住所を有する者であり、昭和35年結婚者(結婚後60年)及び昭和34年以前に結婚されたご夫婦で過去にお祝い状を受賞されていないご夫婦とする。また、夫婦円満で共にご健在であること。(施設入所者も含む。)

○申告表提出期限

・令和3年2月19日(金)申告表は、各公民館(近永・日吉を除く)、日吉中央集会所、鬼北町総合福祉センターにも置いてあります。また、申告に行くことが困難な方には、電話での受付も行ってあります。

電話45-3709(担当:富田/坂本)まで。



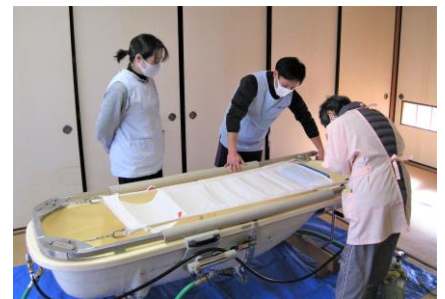
訪問入浴ってなに？

訪問入浴とは、看護師1名・介護職員2名を基本とするスタッフが訪問入浴車でご自宅を訪問し、介護が必要な人が自宅の部屋で入浴できるサービスです。看護師が同行し、入浴前に血圧・体温や体調の総合的なチェックを行うため、定期的な身体状況の把握にも役立ちます。



どんな効果があるの？

- ♡血行が促進され、顔などの色つやがよくなり、床ずれ予防、解消につながります。
- ♡皮膚や身の回りを清潔にして、細菌感染などを防ぎ、より良い健康状態に導きます。
- ♡入浴によるリラックス効果により、気分転換が図れ、睡眠もよく取れるようになります。
- ♡爪切りやシーツ交換など、必要に応じたサービスも行え、ご家族の負担が軽減されます。



問合せ

鬼北町社会福祉協議会

居宅介護支援事業所 電話45-3667 / 訪問入浴介護事業所 電話45-3709



デイサービスセンター「ひまわり」

☆令和2年12月17日に行われた「シェイクアウトえひめ（県民総ぐるみ地震防災訓練）」に利用者さんと職員が参加しました。（写真はその様子です。）

☆利用者の皆様にお正月を味わっていただくためレクリエーションでは、書初めに挑戦！また、今年の抱負を絵馬にかいたり、福笑いで大笑い！そして、デイサービス利用者の昼食や配食サービス利用者のお弁当もお正月ということで調理師、調理員、ボランティアさんに腕を揮っていただきました。



無料法律相談所の開設

鬼北町社会福祉協議会では、下記の日程で弁護士による無料法律相談所を開設いたします。相談は無料ですが、相談人数と時間に限りがあるため**予約制**となっております。

開設日時 令和3年3月19日(金) 14:00~16:00
場 所 鬼北町総合福祉センター(町立北宇和病院横)
受付期間 令和3年1月18日(月)~ 同年2月15日(月)

電話 45-3709(内線6204) 担当:松浦 誠
(事前に申込みが必要となります。)



ふれあい・いきいきサロン活動紹介

「ふれあい・いきいきサロン」とは、地域(同じ組内)に住む住民や高齢者が、自宅から通える場所に集い共に、茶話会やゲーム、体操など自由に企画し、生きがいをづくりや健康づくりに取組み地域住民の支え合い、コミュニティづくり、仲間づくりの幅を広げる活動です。コロナで外に出る機会が減り、人が集まる場所へ行くことが億劫になり人と顔を合わすことが減っていませんか?以前のように集まるのが難しくなっていますが、体調管理に気をつけ、3密(密閉・密接・密集)を避け、短い時間でサロンを開催するなど工夫をされ、無理なく活動をされているサロンもあります。そのような中、感染予防に留意しながら活動を行なっている泉・小倉地区「ふれあいサロン川崎」の皆さんが作った作品を見せていただきましたのでご紹介いたします。



ふれあい・いきいきサロンの設立及び活動助成金を活用しませんか?

○サロンの内容(例)

対象者:組内に居住する65歳以上の高齢者等
開催回数:年10回程度・会費の徴収や活動内容は各サロンで決定
場所:集会所及び個人宅等を活用



○設立にあたって

サロン設立支援助成金として、設立初年度のみ上限10,000円の助成を行います。
また、年間10回以上開催された地区は、年間活動費として上限10,000円の助成をおこないます。

詳しい内容を聞きたい場合は、下記にお問合せ下さい。(ご希望があれば、お伺いしてご説明いたします。)

【お問合せ】鬼北町社会福祉協議会 電話0895-45-3709(担当:富田)まで

くらしの相談支援室より

くらしの相談支援室では、生活でのお困りごと(仕事・お金等)の悩みについて支援員が寄り添い一緒に解決に向けて考えます。

相談は、無料となっており、社会福祉協議会の窓口まで来ることが難しい方は、訪問もいたしますので1人で悩まずお気軽にご相談下さい。

【お問合せ】鬼北町社会福祉協議会「くらしの相談支援室」電話 45-3709



発行: 愛媛県北宇和郡鬼北町大字近永782番地 鬼北町総合福祉センター内
社会福祉法人鬼北町社会福祉協議会 事務局 電話45-3709